

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 6 部門第 3 区分
【発行日】 令和 5 年 11 月 7 日 (2023.11.7)

【公開番号】 特開 2021-105763 (P2021-105763A)
【公開日】 令和 3 年 7 月 26 日 (2021.7.26)
【年通号数】 公開・登録公報 2021-032
【出願番号】 特願 2019-235610 (P2019-235610)
【国際特許分類】

G 0 6 T 19/00 (2011.01)

G 0 6 T 7/292 (2017.01)

【F I】

G 0 6 T 19/00 3 0 0 B

G 0 6 T 7/292

10

【手続補正書】
【提出日】 令和 5 年 10 月 27 日 (2023.10.27)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】 特許請求の範囲
【補正対象項目名】 全文
【補正方法】 変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

20

コンピュータに、

現実世界における第 1 の空間を撮影する第 1 のカメラで撮影した情報を受け付けるステップと、

現実世界における第 2 の空間を撮影する第 2 のカメラで撮影した情報を受け付けるステップと、

複数の移動物のうちの追跡対象物が前記第 1 の空間にいる場合、前記第 1 のカメラで撮影した画像をユーザが装着するデバイスに表示するステップと、

30

前記追跡対象物が前記第 2 の空間に移動したことを検知するステップと、

前記検知するステップで前記追跡対象物が前記第 2 の空間に移動したことを検知した場合、前記デバイスに表示する画像を前記第 2 のカメラで撮影した画像に切替えるステップと、

を実行させる、

プログラム。

【請求項 2】

前記検知するステップは、

前記追跡対象物が前記第 1 の空間を出たことを検知し、

40

前記追跡対象物が前記第 2 の空間に入ったことを検知し、

前記切替えるステップは、

前記検知するステップによって前記追跡対象物が前記第 1 の空間を出たことを検出した後、前記追跡対象物が前記第 2 の空間に入ったことを検出したタイミングで、前記デバイスに表示する画像を前記第 1 のカメラで撮影した画像から前記第 2 のカメラで撮影した画像に切替える、

請求項 1 に記載のプログラム。

【請求項 3】

前記検知するステップは、

前記追跡対象物が前記第 1 の空間を出たことを検知し、

50

前記追跡対象物が前記第 2 の空間に入ったことを検知し、
前記切替えるステップは、

前記検知するステップによって前記追跡対象物が前記第 1 の空間を出たことを検出したタイミングで前記デバイスに表示する画像を前記第 1 のカメラで撮影した画像から所定の画像に一旦切替え、

前記検知するステップによって前記追跡対象物が前記第 2 の空間に入ったことを検出したタイミングで前記デバイスに表示する画像を前記所定の画像から前記第 2 のカメラで撮影した画像に切替える、

請求項 1 に記載のプログラム。

【請求項 4】

前記追跡対象物は、人物であり、

前記検知するステップは、

前記第 1 の空間を撮影した画像及び前記第 2 の空間を撮影した画像を用いて、前記追跡対象物を特定する、

請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載のプログラム。

【請求項 5】

前記検知するステップは、

前記追跡対象物である人物の顔を認識し、

前記認識した顔によって前記追跡対象物を特定する、

請求項 4 に記載のプログラム。

【請求項 6】

前記検知するステップは、

前記追跡対象物である人物の顔の認識において機械学習を行う、

請求項 5 に記載のプログラム。

【請求項 7】

前記検知するステップは、

前記追跡対象物である人物の服の色をさらに認識し、

前記認識した顔及び服の色によって前記追跡対象物を特定する、

請求項 5 又は 6 に記載のプログラム。

【請求項 8】

前記検知するステップは、

前記追跡対象物である人物の服の色を認識し、

前記認識した服の色によって前記追跡対象物を特定する、

請求項 4 に記載のプログラム。

【請求項 9】

前記検知するステップは、

前記第 1 のカメラで前記第 1 の空間を撮影した画像及び前記第 2 のカメラで前記第 2 の空間を撮影した画像を用いて、前記追跡対象物を特定する、

請求項 4 から 8 のいずれか一項に記載のプログラム。

【請求項 10】

前記追跡対象物は、人物であり、

前記検知するステップは、

第 1 のセンサによって前記追跡対象物が前記第 1 の空間を出たことを検知し、

第 2 のセンサによって前記追跡対象物が前記第 2 の空間に入ったことを検知する、

請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載のプログラム。

【請求項 11】

プロセッサに、

前記表示するステップよりも前に、前記複数の移動物のうちのいずれが前記追跡対象物であるかを事前登録するステップ、
をさらに実行させる、

10

20

30

40

50

請求項 4 から 1 0 のいずれか一項に記載のプログラム。

【請求項 1 2】

プロセッサに、

ユーザの注目に基づいて、前記複数の移動物のうちのいずれが前記追跡対象物であるかを登録するステップ、
をさらに実行させる、

請求項 4 から 1 0 のいずれか一項に記載のプログラム。

【請求項 1 3】

前記登録するステップは、前記複数の移動物のそれぞれが前記第 1 の空間から出るタイミングにおけるユーザの注目に基づいて、前記複数の移動物のうちのいずれが前記追跡対象物であるかを登録する、

請求項 1 2 に記載のプログラム。

【請求項 1 4】

前記登録するステップは、前記複数の移動物のうち前記第 1 の空間から出るタイミングでユーザの視界の中央に存在する移動物である人物を顔認識で特定する、

請求項 1 2 に記載のプログラム。

【請求項 1 5】

前記登録するステップは、前記複数の移動物のうち前記第 1 の空間から出るタイミングでユーザの視界の中央に存在する移動物である人物を顔認識で特定し、特定した人物の特徴点を追跡する、

請求項 1 2 に記載のプログラム。

【請求項 1 6】

ユーザが装着するデバイスによって仮想空間を提供するためにコンピュータで実行されるプログラムであって、前記プログラムは前記コンピュータに、

仮想視点と表示オブジェクトとを含む、3次元の仮想空間を定義するステップと、

第 1 のカメラで撮影した画像の入力を受け付けるステップと、

第 2 のカメラで撮影した画像の入力を受け付けるステップと、

入力された画像を前記表示オブジェクトに表示するステップと、

前記デバイスが関連付けられたユーザの動きを検出するステップと、

ユーザの動きに応じて、前記仮想視点からの視界を制御するステップと、

前記視界に対応する視界画像を前記デバイスに表示するステップと、

を実行させ、

前記表示オブジェクトに表示するステップは、追跡対象物が前記第 1 のカメラで撮影した画像にいる場合、入力された前記画像のうち前記第 1 のカメラで撮影した画像を前記表示オブジェクトに表示し、前記追跡対象物が前記第 1 のカメラで撮影した画像から消えて前記第 2 のカメラで撮影した画像に現れた場合、前記表示オブジェクトに表示する画像を、入力された画像のうち前記第 2 のカメラで撮影した画像に切替える、
プログラム。

【請求項 1 7】

コンピュータで実行される方法であって、

第 1 の空間を撮影する第 1 のカメラで撮影した画像の入力を受け付けるステップと、

第 2 の空間を撮影する第 2 のカメラで撮影した画像の入力を受け付けるステップと、

複数の移動物のうちの追跡対象物が前記第 1 の空間にいる場合、前記第 1 のカメラで撮影した画像をデバイスに表示するステップと、

前記追跡対象物が前記第 2 の空間に移動したことを検知するステップと、

前記検知するステップで前記追跡対象物が前記第 2 の空間に移動したことを検知した場合、前記デバイスに表示する画像を前記第 2 のカメラで撮影した画像に切替えるステップと、

を備える、方法。

【請求項 1 8】

10

20

30

40

50

プロセッサと、
プログラムを格納したメモリと、
を備え、
前記プログラムは、前記プロセッサに、
第 1 の空間を撮影する第 1 のカメラで撮影した画像の入力を受け付けるステップと、
第 2 の空間を撮影する第 2 のカメラで撮影した画像の入力を受け付けるステップと、
複数の移動物のうちの追跡対象物が前記第 1 の空間にいる場合、前記第 1 のカメラで撮影した画像をデバイスに表示するステップと、
前記追跡対象物が前記第 2 の空間に移動したことを検知するステップと、
前記検知するステップで前記追跡対象物が前記第 2 の空間に移動したことを検知した場合、前記デバイスに表示する画像を前記第 2 のカメラで撮影した画像に切替えるステップと、
を実行させる、
情報処理装置。

10

20

30

40

50